

令和３年度 伊丹市立稲野小学校教育目標

学校教育目標	人間尊重を基盤として 豊かな心と健康な体を持ち 主体性・連帯性のある子どもを育てる －いきいき なかよく のびのびと 笑顔あふれる 稲野小学校－
---------------	--

めざす学校像	めざす子ども像	めざす教師像
○学ぶ楽しさ・つどう楽しさなどのある学校 ○生き生きとして落ち着きのある学校 (ルール・マナーの尊重) ○家庭・地域社会から信頼される学校	いきいきと進んで学ぶ子 自分の課題を見つけ、主体的に判断して意欲的に取り組む子 なかよく思いやりのある子 笑顔であいさつを交わし、助け合い、磨きあえる子 のびのびと健やかな子 元気いっぱい、最後までやりとおせる子	○子どもたちの心の響きに気づき、共感する教師 ○豊かな感性と創造力をもって授業改善をはじめ自己研鑽していく教師 ○使命感・責任感をもち、家庭・地域の信頼に応えられる教師

学校経営方針（チームいなの）
○基礎的、基本的な知識、技能を習得させる。 ○子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じた教育を推進する。 ○個々の教師の資質を向上させる。 ○「話す力」を向上させるために計画的にスピーチに取り組む。 ○考えを深めるために、より効果的な話し合い活動に取り組ませる。 ○豊かに表現させるための発表の仕方について身につけさせる。 ○読書活動を充実させ、語彙力・読解力・思考力の獲得を図る。 ○豊かな心を育む道徳教育・情操教育の推進 ○いじめの未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応を図る。 ○不登校傾向児童への早期対応を図る。 ○自らすすんで体力を向上させようとする意欲を育てる。 ○家庭と学校をつなぐため、学校情報を積極的に発信する。 ○「信頼される教師の育成」と「信頼される学校づくり」を推進する。

重点努力目標（チャレンジ）
・わかる授業、楽しい授業の実現に向けた授業改善に取り組む。 ・主体性を育む「ねらい」の提示、理解を深める「ふりかえり」活動を工夫していく。 ・思考を深めるために、意図的にペア・グループ活動を取り入れていく。 ・「～したい」と一人ひとりが主体的に取り組むことができる授業づくりを進める。 ・「話す力」向上に向け、系統的に言語活動に取り組む。 ・課題を明確にし、目的意識を持たせることにより「聴く力」をつけていく。 ・気持ちのよいあいさつができるよう取り組む。 ・仲間づくりや相談しやすい関係づくり、関係機関との連携を図っていく。 ・計画的、継続的に体力づくりに向けた授業づくりに取り組む。 ・タブレットを中心にＩＣＴの効果的な活用を図り、わかりやすい授業をすすめる。 ・ユニバーサルデザインの授業づくりをすすめる。 ・保護者、地域に対し学校の取り組みがわかるよう情報発信に努める。